

Cross Cutting Topics (横断的課題)

より環境に優しく、より素晴らしいニューヨークの要素の全てを、この計画の異なる各章に明確に分類することはできない。だからこそ総合計画の価値があるのだ。全ての要素は関連しており、それらを重ね合わせることで、単に合計する以上の価値を生み出すことができる。まさにニューヨーク市がそうであるように。

例えば、建物はニューヨークのエネルギー需要の最大の構成要素であり、効率的なグリーン建物はエネルギー戦略の一部である。さらにグリーン建物は雨水の捕捉に貢献することから、水路浄化略の一部でもある。同様に、水質改善のための戦略は、水泳、カヤック、健康的な娯楽にも良い影響を与え、公園と公共スペース戦略に関係している。そしてこれらの戦略は、歩行や自転車の利用を奨励する交通戦略や、粒子状物質の排出を減少させる大気環境戦略同様、市民の健康を増進する。最後に、当然のことながら、我々の戦略は全て、住民の財政上の健全性にも貢献しなければならない。全てが関連しているのである。

このセクションでは、PlaNYC計画全体を通じ、他の章に既に織り込まれているテーマのいくつかに焦点を当てる。

- 市民の健康
- 食品
- 自然システム
- グリーン・ビルディング
- ウォーターフロント
- 経済的機会
- 市民の参加

市民の健康

戦略

水供給 : 水源域保護プログラムを継続する。水圧破砕法による天然ガス開発から水供給を守る。

交通 : 自転車の安全性と利便性を向上させる。先端技術と価格設定メカニズムの試行により交通混雑を緩和する。歩行者のアクセスと安全性を向上させる。市内道路におけるトラック混雑を緩和する。物流を改善する。

エネルギー : より環境に優しく、より素晴らしい建築物計画を実施する。建築物の持続可能性を高めるために市の条例・規則を改正する。極めて効率が低く高コストな市内の発電所に対する、費用対効果の高いリパワリングまたは発電所の更新を支援する。供給の安定性を向上させ汚染度の高い燃料からの転換を促進するため、天然ガスの輸送・供給能力を増加させる。ニューヨーク市に、より高性能でクリーンな電力網を整備する。

大気環境 : タクシー、リムジン、旅客運送車両の汚染物質排出を減少させる。電気自動車の導入を促進する。車両を減少、交換、改良し、燃料を替える。地域レベルで大気汚染を監視し、モデルを作成する。違法アイドリングを減少させる。フェリーを改良し、よりクリーンな燃料の使用を促進する。ポートオーソリティと協力し、ニューヨーク・ニュージャージー港湾・清浄大気戦略を実施する。よりクリーンに燃焼する暖房用燃料の使用を促進する。条例改正により、屋内空気環境を改善する。大気環境条例を改正する。

廃棄物 : 一般の廃棄物から有害物を除去する。鉄道やはしけ輸送への変更により、地域社会における廃棄物システムの影響を減少させる。

気候変動 : 市の現在および将来の気候リスクを測定するためのツールを開発する。ニューヨーク市の重要インフラを守る。ヒートアイランド現象を緩和する。気候変動が市民の健康に与える影響の理解を深める。気候変動予測を危機管理・危機対応に組み込む。コミュニティと協力し、気候に対する回復力を強化する。

ニューヨーク市は、米国で最も健康的な都市のひとつで、平均寿命は全国平均を上回っている。先見的な計画作りと持続的な投資により達成されたものである。ニューヨーク市は、全国で初めて、有害な土地利用から市民を守る建築規制条例を制定し、住宅の換気、照明、屋内配管を改善する全国的な衛生ムーブメントを先導し、道路と廃棄物の清掃を義務付けた。市は、飲み水を清浄に保つため水供給システムや、大気汚染を大幅に削減する公共交通システムを建設した。

これらの成功にも関わらず、健康上の課題は残っており、新しい課題も出現している。市の運営方法を、創造的で最新式のものに変更させることが求められている。PlaNYCの戦略の多くは、大気、水、建物の改善で市民の健康要因を推進するものであり、健康促進のための市の基本行動計画テイ

ク・ケア・ニューヨークを支援し、より健康的な生活を送れるようにするものである。

米国の大都市で最もきれいな大気環境を獲得するという我々の目的のために、ニューヨーク市民の健康にとって最大の脅威のひとつ、大気汚染を標的とする。有害な暖房用燃料、車両のエンジン、発電所、その他の建物の汚染源から排出される粒子状物質は、毎年、呼吸器疾患、心血管疾患、若年死の大きな要因となっている。そして、高齢者や幼児、低所得者、さらに弱く影響を受けやすい人々が過度にその重荷を負っている。暖房用燃料や電力供給をクリーンにし、公共交通機関へのアクセスと利用を拡大し、車両の動力を天然ガス、ハイブリッド、電気に切り替え、多くの樹木で自然環境を強化することで、我々は大気汚染を改善し、大気汚染が市民の健康に及ぼす脅威を減少させる。我々の大気環境目標を達成すれば、年間700人以上の命を救い、500件以上の入院や、1,400以上の救急救命室への搬送を削減することができる。

都市は、郊外や農村地域より健康的になれるだろう。しかし都市は同時に、高温である。舗装面や、タールを塗った屋根、密集した建物群は熱を逃さず、ヒートアイランド現象を生み出す。時には、市の温度が周囲のカウンティより最大7度、高くなることもある。気候変動で、より頻繁に厳しい熱波が起こることも予想されている。高温は特に、病气、高齢、寝たきりなど、既に弱っている住民にとっては致命的となる。気候変動は、蚊や他の虫が引き起こす疾病のリスクを高め、洪水の頻度や激しさを増し、重要なインフラの状態を悪化させる恐れもある。我々は、これら起こりつつある脅威に対処する計画を策定し、影響を調べ、ヒートアイランド現象を軽減するための対策を実施し、異常気象への備えを強化する。

我々の健康を守り改善できるかどうかは、一人ひとりの選択に大きく左右される。健康的で適度な食事、活動的な生活、定期的な運動は、生活の質を高め寿命も延ばす。しかし、いくつかの地域では、これらの健康的な選択肢を選ぶ機会が制限されている—健康的な食べ物が手に入れにくく、安全な運動と遊びの場が少ない地域では。

食料を入手し易くするため、特定の地域を対象として、健康的な食料小売店の選択肢を増加させる。土地利用政策により、新しい食料品店の開発を促

進し、都市農業に適した用地を見つけ出し、コミュニティ・ガーデンの開発を推進する。

校庭や遊ぶ場所の少ない地域に狙いを定め、質の良い運動場や遊び場が利用し易いようにする。引き続き、競技場の質を改善し、用時間を延長する。全てのボローで、旧廃棄物処分場やウォーターフロント沿いに目標とされるような公園を整備する。

市内の移動方法により、健康も改善できる。公共交通機関、歩行者広場、安全な歩行道路の整備を促進し、自動車交通の騒音と交通量を削減することで、市民がより安全に歩行し、体を動かすことができるようにする。自転車シェアリング計画を試行し、自転車駐輪場を改善し、市内全体の自転車道ネットワークを完成することで、より多くの市民が、安全なサイクリングにより健康を増進することが可能となる。

PlaNYCは、ニューヨークの土地、水、空気をよりきれいで安全なものにするための総合計画である。PlaNYCはまた、持続可能な都市を作ることで、ニューヨーク市民の健康を維持し改善するという目標を前進させる。

食品

戦略

住宅と住宅地域：小売店等のサービスへの徒歩アクセスを促進する。

公園と公共スペース：都市農園とコミュニティ・ガーデンを促進する。

ブラウンフィールド：環境修復されたブラウンフィールドに緑地スペースを増加させる。

水供給：水源域保護プログラムを継続する。

交通：物流を改善する。

廃棄物：廃棄物を削減する機会を促進する。有機廃棄物回収の新たな機会を創出する。廃棄物を削減するために、市政府の調達実務を見直す。市政府の転換率を改善する。

健康的で持続可能な食料システムは、コミュニティの健全性にとって不可欠であり、増加する人口に対応していくうえで重要な課題である。しかし、計画策定上、食料には特徴的な課題がある。殆どのニューヨーク市の食料システムのインフラは下水道や道路とは異なり、民間所有であり何百万の

一人ひとりの消費者の味覚や判断により形成されている。これらの複雑で相互に関連しているサブシステムは、市が組織的に介入したとしても、全体を把握し影響を与えることは困難である。更に、気候や環境の著しい変化は、多くの食料の生産に影響を与える。食料生産の殆どは市外で、連邦政府の政策に従い行われている。それでも、我々の食料システムは、PlaNYCが取り組むいくつかの領域と密接に関連している。ニューヨーク市内の食料の配送や処分方法を改善し、健康的な食料をより手に入れやすくしていくことは、環境面において有益だけでなく、市民の健康面、更には経済面においても好影響を与える。

現在、適正な価格で健康的な食料の入手を容易にし、食料の生産、配送、消費、処分による環境面、気候面の影響を軽減するための多面的な戦略を構築中である。

食料生産に関しては、市の土地を調査し、都市農業やコミュニティ・ガーデンに適切な遊休地を特定する。我々は引き続き公有地での農業プロジェクトを促進し、ニューヨーク市住宅公社所有地の129ヶ所の新しいコミュニティ・ガーデンで作付を行い、市全体のスクール・ガーデン戦略であるグロウ・トゥ・ランNYCを通じてスクール・ガーデンを推進する。更に、既存の条例や規則を見直し、コミュニティ・ガーデンや都市農園を創出するうえで障害となっている不必要な障壁を明らかにし取り除いていく。場合によっては、環境修復されたブラウンフィールドがコミュニティ・ガーデンに利用できる可能性もあり、環境修復地でコミュニティ・ガーデンの育成を可能とする最新の保護対策を考案する。水源域保護計画を通じ、引き続き水源域の農家と協力して農薬使用を最小限に抑え、持続可能な農業実例を導入していく。

我々は、食料の市内への搬入と市内での配送の改善方法をより正しく把握するための調査を行っている。第一段階として、市議会と協力し食料域（食料が生産・加工・配送・消費される地域）の分析を行い、市の食料システムが環境に与える影響を評価する。世界最大の農産物卸売流通センターであるハンツ・ポイント・ターミナル生産市場の再開発は、食料流通に大きく影響する。我々はハンツ・ポイント・ターミナル生産市場の機能を向上させるため、同市場の再設計を推進する。

より持続可能なコミュニティを創出するための我々の戦略は、新鮮で健康的な食料を入手しやす

くし、また、その消費を促進する。サービスが不足している地域で300店の健康食品販売店の新設を推進し、住民の選択肢を拡大する。建築規制の修正すべき条項を特定し、食料の入手が困難な地域における食料品店の開発にインセンティブを付与するため、FRESH計画を拡大する。引き続き市有地を利用し、食料の小売・加工分野での起業家精神を育成していく。

適切な食品廃棄物管理は、食品廃棄の金銭的・環境的成本を削減する。ニューヨーク市の食品廃棄物は、家庭系廃棄物においては18%を、建築・解体廃棄物を除く業務系廃棄物においては11%を占めていると推定されている。コミュニティレベルにおいても商業レベルにおいても、生ゴミ、黄色油脂（使用済み油）、庭ゴミ等の有機物質の回収機会を増加させる。また、ハンツ・ポイント・食品流通センターにおける食品廃棄物の転用等、エネルギー生産プロジェクトを推進する。

食品政策調整局は、PlaNYCの戦略を支援すると共に、食品環境を改善し、食生活に関連する疾病や食料不足に対処するため、市内全域にわたり様々な計画を推進する。ニューヨーク市は、メニューへのカロリー表示や、レストランでのトランス脂肪の使用禁止等、市民の健康に関連する戦略を先導してきた。市の機関や学校で提供される食事における先駆的な栄養基準も設定した。

より環境に優しく、より素晴らしいニューヨークを築き上げていくためには、健康的な食品を住民が入手できるようにし、食品廃棄物処分システムが環境に与える影響を軽減しなければならない。PlaNYCの食品関連戦略は、市の経済と環境を強化しながら、ニューヨーク市民一人ひとりの健康を長期的に向上させていく。

自然システム

戦略

公園と公共スペース：都市農園とコミュニティ・ガーデンを促進する。歩行者・自転車道ネットワークを構築する。100万本の樹木を植える。自然地域を保護する。生態系の連続性を確保する。全ての公共スペースの設計と維持管理に持続可能性を導入する。

ブラウンフィールド：NYCブラウンフィールド浄化プログラムにおける環境修復を促進する。環境

修復されたブラウンフィールドに緑地スペースを増加させる。

水路：ブルー・ベルト計画を拡張する。公共のグリーン・インフラ・プロジェクトを立ち上げる。持続的な雨水管理のためにコミュニティの参加と協力を求める。雨水の補足を高めるために条例を改正する。グリーン・インフラにインセンティブを与える。湿地帯の保護を強化する。湿地帯を復元・勝出する。湿地帯のミティゲーションを改善する。水生生物の生息地を改善する。

水供給：水源域保護プログラムを継続する。水圧破砕法による天然ガス開発から水供給を保護する。

エネルギー：建築物の持続可能性を高めるために市の条例・規則を改正する。

廃棄物：有機廃棄物回収の新たな機会を創出する。

気候変動：市全域の沿岸を保全する手段を明らかにし、それを評価する。

広大な入江に位置し、なだらかな丘とごつごつした岩で形作られ、明確な四季で育まれたニューヨーク市の自然界は生物多様性に満ちている。しかしそれは、時にありふれた風景の中で目につかない。ジャマイカ湾で休息しているハシブトアジサシや、リバーデルで獲物を探しているアカオノスリに気付きもしないかも知れない。しかし彼らが必要としている清浄な水や居心地の良い樹木は、我々生活の質の基本的な要素である。少しずつブロンクス川に戻ってきているビーバーやエールワイフニシンは、今の時代には物珍しく思えるかもしれない。しかし、何世代ぶりにニューヨークの水路を泳ぎ始めたこうした生物の存在は、近隣地域の学童にとっては生きた教材となるものである。

ニューヨークを建設するために、我々は丘を平らにし、湿地帯を埋め立て、泉や川を埋め、草木を倒してきた。世界最高レベルの生産量を誇ったかき礁は、港の汚染により消え去ってしまった。素晴らしい都市を建設する一方で、時には、道路や建物で自然を覆うことで、気づかない対価を払ってきた。我々が手放してしまった自然システムの多くは、なくてはならない機能を果たしていた。草木は雨水を土壤に浸透させた。現在我々は、洪水を防ぐために、コンクリートの貯留タンクやグレイ・インフラ（下水道施設）に数十億ドルを費やしている。湿地帯は沿岸を保護し、水を浄化し、魚類や貝類の生息地となっていた。現在、海岸線

は護岸や防波堤で覆われ、日々食する魚は遥か遠くの外から運ばれている。草木は木陰を作り、自然の冷房機能を提供していた。現在我々は、耐えられない夏の暑さを避けるため、冷房された場所から冷房された場所へ急いで移動している。

それでも我々の先人達は自然の一部を、ところどころの場所で手入れをして甦らせてきた。こうした場所は現在、市内で最も大切にされている場所となっている。そして過去数十年間に、市と自然との関係に対する認識は変化し、その境界線は曖昧になってきている。我々は現在、自然がどのように気候を和らげ、水を管理し、海岸を保護しているかをより良く理解しており、そのようなシステムを都市環境の中で運営していく能力も向上している。現在では、自然の生息地や各種の生物の保全・再構築や、人間と自然との接触をより重視している。

ニューヨーク市は今後もずっと都市であり続ける。しかし、部分的な自然や、自然の持つ機能が必ずしも都会的であることと相反するものではないことは次々と明らかになるだろう。自然は都市の中に新しい居場所を見つけている。公園や庭だけでなく、我々が立ち止まり、呼吸し、街路の樹木を見る時、また、屋上緑化の植物や海岸沿いの水の中にも自然を感じることができる。自然は、あたかも細い糸のように、米国で最も人口密度の高い人間の居住地の一つに途切れることなく織り込まれている。この都市自然に対する新たな認識は、自然の連続性を意味する。自然は、全くの野生地から、高度な人工バイオ・システム—近代都市の制約の中で古い自然システムの機能を再構築する—まで、途切れず連続しているのである。

自然システムの再生は、従来の官僚的、行政的境界を横断して行われる戦略であり、複合的かつ重層的な恩恵をもたらす。先進的なツリーピットや、グリーンストリートの植栽、多孔質舗装道路等のインフラは、雨水を下水処理場に流入させずに土壤に浸透させるか蒸発させることで、港湾の生態系の健全性を復元させるのに役立つ。こうしたインフラをアスファルトやコンクリートの代わりに設置することで、自然の力で気温は下がり、レクリエーションの場が創出され、歩行者は心地よく過ごせるようになる。同様に、湿地帯を復元して、鳥や、魚、その他の水生生物の生息地を作ること、雨水を捕捉し、水路を浄化し、我々を高潮から守ることのできる生態系の能力が回復する。

2030年の時点で我々の市を共有する900万人以上の
の人々と無数の種の生物は、ミリオン・ツリー
NYC、グリーン・インフラ計画、公園や屋上緑化
の拡大・強化といったプログラムにより提供され
る自然やレクリエーションを楽しむ権利がある。
目に見えるか否かを問わず、市内の自然システム
を保全・強化することは、より環境に優しく、よ
り素晴らしいニューヨークという目標を達成する
ために不可欠であることを、我々は学んできた。
しかし、こうした自然システムは、港を浄化しパ
ークランドを提供するだけではない。都市生活を
自然との豊かな交流を可能とするものに変化させ
る。そしてそれにより、我々は自分たちが人間で
あるということを再認識するのである。

グリーン・ビルディング

戦略

住宅と住宅地域：市営住宅と公営住宅の持続可
能性を高める。適正価格住宅を保全し品質を向上
させる。

公園と公共スペース：生態系の連続性を確保す
る。全ての公共スペースの設計と維持管理に持続
可能性を導入する。

水路：公共のグリーン・インフラ・プロジェク
トを立ち上げる。持続的な雨水管理のためにコミ
ュニティの参加と協力を求める。雨水の補足を高
めるために条例を改正する。グリーン・インフラ
にインセンティブを与える。

水供給：最新技術により運営の効率性を改善す
る。節水を推進する。

エネルギー：より環境に優しく、より素晴らしい
建築物計画を実施する。建築物の持続可能性を
高めるために市の条例・規則を改正する。エネル
ギー条例の遵守を徹底し、グリーンビルディング
の改善状況を市全域で継続的に監視する。小規模
建築物の省エネ性能を向上させる。歴史的建築物
の省エネ性能を向上させる。省エネ性能向上のた
めの資金と情報を提供する。21世紀の省エネを担
う人材を育成する。ニューヨーク市を省エネと新
しいエネルギー戦略のための知見集積地にする。
市政府の建築物・事業運営において省エネの先導
的役割を果たす。メイヤーズ・カーボン・チャレ
ンジを新部門に拡張する。

大気環境：よりクリーンに燃焼する暖房用燃料
の使用を促進する。条例改正により屋内空気環境
を改善する。

廃棄物：廃棄物を削減する機会を促進する。リサ
イクルの利便性・容易さを改善する。建設廃棄物
削減のため、規制・基準を改正する。リサイクル
資源の新マーケットを開拓する。一般の廃棄物か
ら有害物質を除去する。

気候変動：温室効果ガスを2050年までに80%削
減するための機会を評価する。連邦緊急事態管理
局(FEMA)と共同で、洪水保険料率地図を更新する。
建物の回復力を強化するために規制を改正する。
保険会社と共同し、建物の洪水対策促進戦略を策
定する。ニューヨーク市の重要インフラを守る。
ヒートアイランド現象を緩和する。

かつて建築物は、その土地で入手できる自然の資
材で作られ、日光や、自然の換気を利用するよう
に設計されていた。豊富で安価なエネルギーや、
電気の照明、潤沢な給水、革新的な新材材が、建
築物の設計や建築様式を著しく変えた。安価なエ
ネルギーが、太陽や風の向き、その他の地域状況
を考慮しない建築物の設計を可能にした。

こうした変化により、現在、建築物の建設と運営
は、エネルギー供給や給水に過度の負担をかけ、
多量の廃棄物を発生させ、時には我々を有害物質
の危険に晒している。ニューヨーク市では、建築
物でのエネルギー使用は市の温室効果ガス排出量
の75%を占め、水の使用は85%を占めている。廃
棄物の少なくとも半分は建築・解体作業からの廃
材である。廃材の中に新築建築物が必要とする資
源が含まれていても、一部分は利用せず廃棄され
ている。建設から解体に至るまで、建築物の資材
をより活用し、あるいは再利用する方法を見つけ
出すことで、環境を大幅に改善することができる。

この数十年間で新たに台頭した概念であるグリー
ン・ビルディングは、建築物が環境や健康に与え
る影響を改善することを目的としている。グリー
ン・ビルディングが行っている、建築物の形状、
天候や立地、そして建築物システム等、様々な要
素の相互作用を考慮した統合的設計プロセスは、
多くの利益をもたらす。具体的には、屋内外の大
気環境改善、節水の推進、廃棄物削減などである。

ニューヨーク市の100万棟の建築物全てがグリー
ン・ビルディングの事例を実践するためには、公
共部門および民間部門の双方が全力で取り組む必

要がある。市内の建築物床面積の6.5%を占める、市が所有し運営している建築物において、我々は新たな戦略の実験を行い、自らより厳しい基準を設定する。民間部門については、グリーン・ビルディングを普及させるために、市の建物条例・規則を利用して全体の基準を引き上げる。

200人以上の建築専門家で構成される「ニューヨーク市グリーン条例タスクフォース」は、市の条例・規則の見直しを行った。同タスクフォースは、用地の設計から、省エネや節水、更には新しい課題である気候変動に対する建物の回復力等、様々なテーマに関する提案を行った。建築物の効率改善に関するPlaNYCの戦略の多くは、同タスクフォースのアイディアに基づいたものである。

市のプロジェクトにおける大規模なエネルギー設備改良の実証実験から、建築物のグリーン化進行度の総合的追跡調査に至るまで、多くの戦略により、我々は建築物の省エネ性能を高め、運営コストを削減し、温室効果ガスの排出量を減少させる。

グリーン・ビルディングは、建築物と周辺環境との関係を改善し、その結果、建築物が市のインフラに及ぼす影響を軽減する。雨水を処理し、リサイクルを増加させ、室内の大気環境を改善し、積極的な公共交通利用に対応し、植物で覆われた場所を拡大するといった市の戦略は、全てが多様なグリーン・ビルディングの技術に合致するものである。

我々の多くの目標を達成するためには、ニューヨークの建築業界の先進性を維持するとともに、建築物のライフサイクルにも対処していかなければならない—建築物がどのように建設され、運営され、そして解体された後はどうなるのか。

当計画の戦略に加え、市は先頃、アクティブ・デザイン・ガイドラインを公表した。これは、地域、道路、建築物を設計する際に、できるだけ体を動かすように配慮することを奨励するものである。

総合的な設計により優れた建築物を作り出すことができるのと同じように、市の持続可能性を高めるための全ての戦略にグリーン・ビルディング戦略を取り入れることは、PlaNYCの目標達成に大きく貢献する。

ウォーターフロント

戦略

住宅と住宅地域：低利用地に住宅地域を新規開発する。既存住宅地域に新規住宅を創出する。

公園と公共スペース：主要公園を創出・改良する。旧埋立処分場を公共スペース・パークランドに転換する。水上レクリエーションの機会を増やす。市、州、連邦間の協力関係を強化する。歩行者・自転車道ネットワークを構築する。自然地域を保護する。スチュワードシップを支援・促進する。全ての公共スペースの設計と維持管理に持続可能性を導入する。

ブラウンフィールド：金融・保険業界との提携により、NYCブラウンフィールド浄化プログラムへの参加を拡大する。ブラウンフィールドの特定・浄化・再開発を可能とする。

水路：二次処理基準を達成するために下水処理場を改善する。窒素排出を削減するために処理施設を改善する。費用対効果の高いグレー・インフラ事業を完成させCSOの減少と水質の改善を図る。下水道ネットワークを拡張する。既存の下水道システムを最適化する。ブルー・ベルト計画を拡張する。公共のグリーン・インフラ・プロジェクトを立ち上げる。持続的な雨水管理のためにコミュニティの参加と協力を求める。雨水の補足を高めるために条例を改正する。グリーン・インフラにインセンティブを与える。水路の清掃に積極的に参加する。湿地帯の保護を強化する。湿地帯を復元・創出する。湿地帯のミティゲーションを改善する。水生生物の生息地を改善する。

交通：フェリーサービスを拡張改善する。物流を改善する。

大気環境：フェリーを改良し、よりクリーンな燃料の使用を促進する。ポートオーソリティと協力し清浄大気戦略を実施する。

廃棄物：廃棄物システムがコミュニティに与える影響を軽減する。

気候変動：気候変動予測を定期的に評価する。連邦緊急事態管理局（FEMA）と共同で、洪水保険料率地図を更新する。市の現在および将来の気候リスクを測定するためのツールを開発する。建物の回復力を増加させるために規制を改正する。保険会社と共同し、建物の洪水対策促進戦略を策定する。ニューヨーク市の重要インフラを守る。市全域の沿岸を保全する手段を明らかにし、それを評価する。気候変動予測を危機管理・危機対応に組み込む。コミュニティと協力し、気候に対する回復力を強化する。

ニューヨークは沿海都市である。5つのボローの内の4つは島で、他の1つは半島である。より分かりやすく言えば、ニューヨークは520マイルの海岸線を有しており、これは、シアトル、サンフランシスコ、シカゴ、そしてポートランドを合わせたよりも長い。海岸線は海事産業の拠点となっており、31,000人の雇用を支え、13億ドルの税収を生みだしている。そこは発電所、空港、下水処理場等の重要なインフラの所在地であり、商業・住宅開発地域、何百種の鳥や魚の自然生息地、220マイルの公共スペース等、多種多様な機能が混在している。

我々のウォーターフロントは、掛替えの無い貴重な資産である。しかし、数十年もの間、ニューヨーク市民は殆ど利用することができなかった。最近、我々はウォーターフロントを取り戻すために、幅広い取り組みを行っている。これまで立ち入ることができなかった何マイルもの海岸線を市民に解放し、5つのボロー全てに新しく公園を整備し、数千戸の住宅を建設し、海事関係の新規雇用を生み出し、水路を浄化した。この再活性化を継続するため、海岸線全体の長期的ビジョンを確立する「ビジョン2020：ニューヨーク市総合ウォーターフロント計画」を2011年に公表した。ビジョン2020は、2007年に初めて発表されたPlaNYC戦略を元に作成したものであるが、今回のPlaNYCの更新においては、今度は「ビジョン2020」を参考としている。

我々は水辺の地域を活性化させるとともに、水の利用機会そのものを増加させる。合流式下水道越流水(CSO)を減少させ、窒素放出を削減し、汚染された沈殿物を除去し、湿地帯を復元させることで、海岸の生態系を強化し、人々だけでなく、青サギやスズキも、水路を利用できる機会を増加させる。さらに、5つのボロー全ての水辺の遊休地を、行楽地的な公園に変化させる。具体的には、ブルックリン・ブリッジ・パーク、ガバナーズ・アイランド、サウンドビュー・パーク、ロックアウェイ・ビーチ・パーク、フレッシュキルズ・パーク等である。

引き続き様々な手法でウォーターフロントに人を引き付け、活性化する。ハンターズ・ポイント・サウスとウィレッツ・ポイントに新しい住宅地域を建設する。遊休地の建築規制の変更を検討し、より生産的な使用のための機会を創出する。海岸沿いの開発は、増加する人口のための住宅や他のサービスの必要性を満たし、雇用を提供し、税収

を生み出し、より多くの人々を水辺に引き付ける。より多くの遊休地を再開発に利用できるように、汚染された土地をより効果的に浄化する手順を確立するためのプログラムを実施する。

水路は、貨物や人々を移動させるために今後益々重要になる、いわば青いハイウエーである。水上輸送の増加は、道路や公共交通システムの負担を軽減させる。イースト・リバーのフェリー・サービスは、より多くの人々に持続可能な代替移動手段を提供する。また、船舶による廃棄物の市外輸送の増加は、大気汚染を改善し、道路からトラックを減させ交通渋滞を軽減する。海運船舶が使用する燃料をよりクリーンにし、港を使用する船舶や、列車、トラックからの排気ガスを減少させることで、海岸沿いの地域の空気を浄化する。

海面の上昇や、高潮、降水量の増加が海岸地域に及ぼす影響を評価し、対応する。ニューヨーク市の現在および将来の気候リスクを測定するツールを開発することで、海岸インフラの重要な部分や他の構築環境の要素を設計・導入する際に、十分な情報に基づく判断ができるようになる。

ニューヨーク市のウォーターフロントを活性化するための取組みは、PlaNYCの戦略だけに止まらない。ビジョン2020の目的は、可能性のある場所に新たな住宅地域や公園を創出するだけでなく、海事関連産業が成長し繁栄することができる活力溢れるビジネスの場としてのウォーターフロントを維持することでもある。我々は、港湾での貿易や海運等の重要な経済活動の拡大を可能にする、ウォーターフロントのインフラを開発している。

ウォーターフロントは、我々の身体活動、経済活動、そして社会構造全般における重要な構成要素である。ニューヨーク市民や旅行者を再び水辺に結びつけるため、我々は市の端部にある海岸地域を活性化する。そして、最高のウォーターフロントとしてのニューヨーク市の地位を回復する。賢明かつ繊細な計画により、今後幾世代にも渡って大切にされるウォーターフロントを作り上げる。

経済的機会

戦略

住宅と住宅地域：新規開発地域を創出する。低利用地に住宅地域を新規開発する。現存住宅地域に新規住宅を創出する

公園と公共スペース：都市農園とコミュニティ・ガーデンを促進する。

ブラウンフィールド：金融・保険業界との提携により、NYCブラウンフィールド浄化プログラムへの参加を拡大する。ブラウンフィールドの特定・浄化・再開発を可能とする。現存の州・連邦政府との協力関係を基礎とし、市のブラウンフィールド・プログラムを改善する。ニューヨーク市におけるブラウンフィールド再開発の経済的価値を調査する。市のプログラムを活用し、浄化・再開発のための財源と新たなインセンティブを創設する。ブラウンフィールド浄化計画の透明性とアクセス可能性を改善する。

水供給：最新技術により運営の効率性を改善する。

交通：物流を改善する。空港のインフラに投資する。公共交通ネットワークの維持管理とか医療のための財源を確保する。

エネルギー：省エネ性能向上のための資金と情報を提供する。21世紀の省エネを担う人材を育成する。ニューヨーク市を省エネと新しいエネルギー戦略のための知見集積地にする。クリーンな分散電源の開発を促進する。ニューヨーク市に再生可能エネルギー市場を育成する。ニューヨーク市により高性能でクリーンな電力網を整備する。

廃棄物：有機廃棄物回収の新たな機会を創出する。リサイクル資源の新マーケットを開拓する。転換技術を試行する。

ニューヨーク市は経済成長の原動力である。世界最大レベルの港湾と輸送システムは、市内だけでなく、市外の遠くまで貨物や人々を移動させている。金融業界は企業家を支援しており、大学や、美術館、博物館、劇場は世界中の有能で勤勉な人々を引き付けている。しかし、今日の世界経済はこれまでにないほど厳しい。人々や資本投資の流動性が極めて高くなった世界において、チャンスが存在する都市であり続けるため、近くではスタンフォード、遠くでは上海といった都市と激しく競争をしている。

ニューヨークをより環境に優しく、より素晴らしい都市にするという政策は、都市としての競争力を強化するという、より大きな戦略の一部である。新しい産業を奨励し、革新的な実務事例や技術を推進し、重要なインフラを維持管理し、高い技術を持つ労働者を生みだし、企業や有能な人々を引き付けるために不可欠である生活の質を向上

させる。PlaNYCの政策は、新しいビジネス市場を開拓することで、経済の変革に貢献する。旧埋立処分場における実用規模の再生可能エネルギーの開発を検討することで、再生可能エネルギー発電を支援する。廃棄物から黄色油脂(使用済み油)等の有機物質を回収することで、バイオディーゼル等の新市場のチャンスが生まれ、既に地元の雇用を支えている。コジェネレーション・プロジェクトは、温室効果ガス排出量を削減し、クリーン・エネルギー技術市場を後押しする。また、省エネは企業と家庭の両方の消費者コストを削減する。

規則上や財政上の主要な障壁を取り除き、適切な情報を提供することが、ビジネスの成長を加速させる。汚染された土地の浄化要件の合理化は、土地開発を促進し、最終的には雇用を創出し、新たな住宅とビジネスのチャンスを生み出す。同様に、土地利用・建築規制の改正は屋上クリーン・エネルギー技術を推進し、再生可能エネルギーの生産と使用の拡大を支援することで、新たな起業のチャンスが生まれる。連邦政府の資金を戦略的に民間資金にミックスすることで、省エネのための資金が調達しやすくなり、その結果電気料金は低下しニューヨーク市民のポケットマネーが増える。

「より環境に優しく、より素晴らしい建築物計画」は、建設業界全体における熟練技能の強化を必要とし、エネルギー監査や、レトロ・コミッションング(既存建築物の環境性能改善委託)、エネルギー管理等の振興部門における雇用機会を創出する。建築専門家のための省エネ教育センターを設立し、省エネ専門家のための基準を導入し、エネルギー法規に基づき電気技術者を教育することで、21世紀の省エネ性能改善のための労働力を創出する。必要とされる技能を有する労働者を揃えることで、ニューヨーク市を省エネ実務と省エネ技術の中心とする。

我々の経済は、人々と物資の輸送システムの信頼性に依存している。ブルックリンのウォータフロントへの鉄道や海上輸送による貨物配送を増やすことで荷動きを改善し、ニューヨーク・コンテナ・ターミナルへの陸上アクセスを改善する。ニューヨーク・ニュージャージー・ポート・オーソリティ、近隣の州及び連邦政府と協力し、米国各地や世界への玄関口としての機能を改善し、ニューヨーク市における発着が、ワールド・クラスの都市として然るべき体験となるようにする。さらに、引き続き公共交通システムや、道路・橋の維

持管理を行うことで、人々が市内を移動する手段も改善しなければならない。

水の使用量を計測する自動検針システムの設置、廃棄物運搬方法の再検討、政府建築物の効率改善、或いはコストの高いグレー・インフラ（下水道設備）を補完するグリーン・インフラへの投資等、ニューヨークをより環境に優しく、より素晴らしい市にするという我々の戦略は、同時に市政府のコストを削減し、行政サービスをより効率的で費用対効果が高いものとする可能性があることを常に意識していく。

ニューヨーク市は常に、厳しい経済状況における課題をチャンスに変えることで発展してきた。より環境に優しく、より素晴らしいニューヨークを築き上げるという課題を、将来の経済発展推進のために利用していく。インフラに投資し、新しい市場やビジネスを育成する政策を立案し、現存の市場やビジネスの妨げとなっている障壁を取り除き、最先端の熟練技能労働力を作り上げることで、我々は経済基盤を強化して、ニューヨーク市を今後も人々が住み続けたい都市とすることができる。

市民の参加

戦略

住宅と住宅地域：より環境に優しく、より素晴らしいコミュニティを育成する。市営住宅と公営住宅の持続可能性を高める。

公園と公共スペース：遊休地を遊び場または臨時的公共スペースとして開放する。都市農園とコミュニティ・ガーデンを促進する。100万本の樹木を植える。ステュワードシップを支援・促進する。

ブラウンフィールド：コミュニティ主導の計画策定を支援する。地区及びコミュニティ全体のブラウンフィールド計画策定を支援する。ブラウンフィールド浄化計画の透明性とアクセス可能性を改善する。

水路：持続的な雨水管理のためにコミュニティ参加と協力を求める。

エネルギー：小規模建築物の省エネ性能を向上させる。メイヤーズ・カーボン・チャレンジを新部門に拡張する。ニューヨーク市に再生可能エネルギー市場を育成する。

大気環境：電気自動車の導入を促進する。違法アイドリングを減少させる。よりクリーンに燃焼する暖房用燃料の使用を促進する。

廃棄物：廃棄を削減する機会を促進する。資源の再利用を促進する。リサイクルにインセンティブを与える。リサイクルの便利性・容易さを改善する。有機廃棄物回収の新たな機会を創出する。

気候変動：気候変動予測を危機管理・危機対応に組み込む。コミュニティと協力し、気候に対する回復力を強化する。

PlaNYCは、より環境に優しく、より素晴らしいニューヨークを作るために、今後20年間に市政府が行う戦略の総合的なリストを提示している。しかし、この計画は同時に、個人や市民組織の率先した行動を可能にすることも意図している。

市は、道路や水道管の管理、廃棄物の収集・リサイクル等の行政サービス、建物規制等の規制実施等、多くの主要な役割を担っている。地下鉄路線への出資や公園の改善等、市は重要な選択を行っている。しかしニューヨーク市が、真に、より環境に優しく、より素晴らしい場所となるかどうかは、800万人以上のニューヨーク市民が毎日行っている無数の選択にかかっている。どのような車を運転するのか、何を廃棄し何をリサイクルするのか、どの電気製品を購入するのか、家庭の暖房用燃料に何を使用するのか、個人が下す大小の決定が重なり合うことで、大きな影響を持つことになる。ニューヨークの過去の成功の大部分が、個人の行動、市民のステュワードシップ、そして政府の計画の融合により生み出されてきたように、より環境に優しく、より素晴らしいニューヨークを実現させるためには、市庁舎における決定と、市内全ての住民の知恵と決意の、どちらもが必要である。ニューヨーク市民は、責任を分かち合うことの必要性を認識している。最近の調査における「市の環境改善に最も影響力を持つと思われるのは誰か」という質問に対し、上位2つの回答は「市政府」と「私のような普通の市民」であった。

この回答は、ニューヨーク市民を教育し、権限を与え、参加させ、そして地域に根差した持続可能性への取り組みを支援し、ニューヨーク市民をボランティア活動に結びつけ、公共学校に持続可能性に関する教育を取り入れるという我々の決意をより強固にするものである。

GreenNYC

個々のニューヨーク市民は、GreeNYCを通じて、どのようにすればより持続可能なライフスタイルを送れるのか、情報を得ることができる。この公共教育計画は、ニューヨークをより環境に優しく、より素晴らしい場所にするためにニューヨーク市民に何ができるのか、情報を提供している。GreeNYCの情報資料には、ニューヨーク市民が現状改善のための行動を起こすことができるように、説得力のある事実と身近な行動を提案している。計画の認知度を高め一貫性を持たせるため、GreeNYCは、分かりやすい「バーディ」というマスコットを前面に押し出し、独自のブランドを創出した。バーディは、GreeNYCのメディア・キャンペーンの全メッセージに添付され、市内全てのイベントに登場する。GreeNYCは、金銭面での節約の可能性や、環境保全、あるいは、個人的な健康改善等、様々な誘因でニューヨーク市民にアピールしている。市民が自発的に正しい選択をすることを促進することは、従来型の政府の行動を補完するために必要である。

ニューヨーク市民の持続可能性に対する態度や、行動改善の可能性についての、GreeNYCの最近の調査によると、ハイブリッドや電気自動車を購入したり、家庭エネルギー監査の提言に従ったり、或いは省エネ性能の高い照明に変えるといった個人の行動により、市の温室効果ガス（GHG）排出量を9%削減できる可能性があることが分かった。この計画に含まれているどの単一の公共政策や提案よりも、何百万人という個人の行動の積み重ねの方が、温室効果ガス排出量の削減比率において勝るのである。

どのようにすればニューヨーク市民が温室効果ガスを有意義かつ測定可能な方法で削減することができるのか、引き続きGreeNYCを通じ、市民と協力していく。多くの方法が、PlaNYCが打ち出している政策目標に直接の関連性を持っている。2010年に行った、行動のもたらす影響に関する調査は、エネルギー、大気環境、そして廃棄物といった分野において、教育キャンペーンが最も大きな影響を与えることを示している。我々は今後、こうしたデータを活用していく。

建築物でのエネルギー使用が、市の温室効果ガス排出量の約80%を占めていることから、省エネに集中した対策を実施する。住宅用建築物におけるエネルギー消費を削減するため、GreeNYCは1~2世帯用住宅の所有者に対し、建築物の対候性対策を奨励する。具体的には、壁の絶縁、窓の密封、

モニター・システムとプログラム制御サーモスタットの設置、住宅エネルギー監査の提言に従った改善策の実施等である。どのようなタイプの住宅に住んでいるかを問わず、ニューヨーク市民が電気製品をより効率的に使用し、照明設備を省エネ性能の高いものに変更し、エネルギー消費を抑えるためのサーモスタットを設置することを促進する。エネルギー供給のクリーン化を支援するために、電気事業者から再生可能エネルギーを購入するという選択肢について、ニューヨーク市民を教育する。

GreeNYCは、温室効果ガス排出量の削減だけではなく、廃棄物の減少も含む環境の質的改善も目標としている。廃棄物を有意義に削減するため、我々は紙のリサイクルを促進させ、勝手に送られてくる不要な郵便物を無くすためのツールを個人に提供し、使用済み物品の寄付に対する支援を行い、ニューヨーク市民が水道水を飲むことでペットボトルのゴミを減らすことを奨励する。

より環境に優しい、より素晴らしいコミュニティ

個人に役立つ情報を提供する一方、コミュニティに根ざしたグループと協働する取組みも増加させる。ニューヨークは常に、世界をより良くするための行動を積極的に行う住民に恵まれており、多くの場合、そうした行動は彼らの住んでいる区画から始められている。現在、彼らは、結束して地域市民団体を形成し、樹木を植え、地域のコンポストセンターを管理し、コミュニティの集会場を作り、或いは住民を組織して住宅の対候性対策を実施している。市は既に、ウィークエンド・ウォーク（週末の歩行者天国）や、セーフ・ルート・トゥ・スクール（安全な通学路）。或いはグリーン・インフラ助成金等の計画を通じ、これらの地域計画の多くに直接関与している。

これらの市と地域社会の取組みにおける共同関係を加速させるために、我々は、より環境に優しく、より素晴らしいコミュニティというアプローチを行う。これは、コミュニティに根ざした取組みを支援し、PlaNYCの目的に合致した手法で地域社会を改善するものである。目標とする成果に対する地域のビジョンに合致するように、コミュニティ・グループに対し、汚染された土地を浄化するための技術支援や、ツール、助成金を提供する。

公園のステewardシップや、新しい公共スペースを創出する機会を拡大する。そして、コミュニティが計画したグリーン・インフラ・プロジェクトへの地元や民間の土地所有者の参加を促すため、助成金コンペを行う。さらに、建築物の所有者や民間の公益会社と提携して、汚染物質を多く含む4号および6号暖房用油の段階的廃止とクリーンな燃料への早期転換を加速させる。

NYCサービス (NYC Service)

ニューヨーク市民の多くはNYCサービスを通じて、より環境に優しく、より素晴らしいニューヨークを創出するための努力を行っている。NYCサービスは、市長の主導により創設されたNPOで、ボランティア活動を促進し、市の最も重要な課題に取り組んでいる。NYCサービスは、何百という地域市民組織が運営する何千という環境プロジェクトにボランティアを結びつけている。

PlaNYCを支援するために、NYCサービスは引き続き、ミリオン・ツリーズNYCのためのボランティアを募集する。100万本の樹木を植樹するこのプログラムは、「公園と公共スペース」計画や「水路」計画の目標を達成するために不可欠な取り組みである。現在までに、この運動の一環として行われた430,000本の植樹のうち、3分の1以上が8,000人を超えるボランティアにより植樹されている。NYCサービスは更に、120以上の地域社会に根ざした清掃プログラム「ラブ・ユア・ブロック」に対し助成金を提供している。

ボランティアを使って、ヒートアイランド現象やエネルギー使用を減少させる反射コーティングで屋上を塗る、NYCクール・ルーフス (NYC °Cool Roofs) 計画も拡大する。この計画で、100万平方フィート以上の屋根にコーティングが施された。これには1,600人のボランティアと企業献金が利用されている。

学校での持続性

PlaNYCは、ニューヨークの次世代市民が、現在の我々よりも、更に環境に優しく、更に素晴らしい都市に住めるようにするために役立つものである。しかしその世代は既にここに存在しており、成長した時に引き継ぐのではなく、今そうした都市を築き上げるために行動する準備が整っている。市の学校の100万人以上の生徒が、教室の内外で教育を受けている。持続可能性に関する教育を授業

に組み込むための多くの取組みが既に行われている。教育局省 (DOE) は、エネルギー保全における最高の改善を達成するための学校間の国際的な競争であるグリーン・キャップ・チャレンジに参加した。2010年にトップになった都市の学校は、この競争期間にエネルギー使用量を35%削減している。DOEは更に、授業に持続可能性に関するカリキュラムを取り入れるため、ソーラー・ワン等の複数の非営利団体と共同で取り組んでいる。

これらの取組みを強化することは、我々の目標達成のために不可欠である。リサイクルの取組みを先導し、教師の教育を行い、生徒達がリサイクルの倫理観を身に着け成長するように導く、持続可能性コーディネーターを全ての学校で採用するようにする。生徒たちはグロウ・トゥ・ラーン・プログラムで、どのように食物が育つかを学ぶ。年間25の新しいスクール・ガーデンを登録し、少なくとも毎年75%の登録済みスクール・ガーデンを維持していく。

より環境に優しく、より素晴らしいニューヨークを実現するという誓いは、全てのニューヨーク市民に関わるものであり、我々が共に努力することで初めて達成可能となる。PlaNYCは意欲的な計画である。そして、そうあって然るべきである。何故ならば、ニューヨークは世界中で最も意欲的な都市であるからだ。しかし我々は、これから我々が行おうとしていること—新技術を適用し、新しいインフラを建設し、樹木を植え、水や空気を清浄にする—に対し、単に熱望的なだけではない。それらの実施手法においても意欲的である。力強い市のリーダーシップと戦略、そして5つのボロ—全ての住民の固い決意を結集し、より環境に優しく、より素晴らしいニューヨークを築き上げていく。